

ムカデに噛まれたら!!



あなたはどうしますか。

普通は、噛まれて痛く・赤く腫れた場所をすぐに冷やし、傷口の毒を絞り出し、その後に医療機関に駆け込むと思います。しかし医療機関でも特効薬はないので局所麻酔剤の注射で痛みを止めて、抗アレルギー剤やステロイド外用剤、抗生剤や鎮痛剤の処方で見様子を見るしかなかったと思います。多くの教科書にも痛くて腫れている場合は「冷やさない」と書いてあります。

ところが最近、これと全く逆の簡単な応急処置法がインターネットで紹介されており、経験した多くの医師も推奨しています。

ムカデ咬傷の「温熱療法」です。

「やけどしない程度に熱い(43℃以上)お湯で患部をよく温めてシャンプーで洗浄を」

42-45℃のお湯で 10-20 分温める。たったこれだけです。冷やしたり毒を絞ったりする必要はありません。むしろしないで下さい。

ムカデの毒はタンパク毒なので熱に弱く、体のごく浅いところに毒が入るため、毒がまわる前に、つまり噛まれたらすぐ熱めのシャワーをかけ温めて、流すのが効果的なのだそうです。

これで痛みが改善し普通は後遺症もなく治りますが、**症状が変わらねば医師にご相談下さい。**

インターネットの参考サイト

東京工業大学 ソリューション研究機構 (特任教授) 上田智章先生

<http://www.neo-tech-lab.co.uk/Interest.htm>

【アウトドアでの専用技】

山の中でキャンプや仕事中に噛まれお湯が直ぐに用意できないとき、溶けた口ウソクを患部に垂らします。溶けた口ウソクの温度は 50℃ですが皮膚に接触すると熱交換を起こすので火傷の心配は無いとのこと。高温なため、熱いですがより即効性があると考えられます。また温熱療法は海でヒトデやウニ、魚の棘で刺されたときにも有効とのことですので、慌てて受診する前に、まず「温めてみる」ことを行って見て下さい。

院長